

# 関節リウマチの治療を受けられる患者さんへ

## 関節リウマチ手部骨髄浮腫に特有な X 線画像の解析に関する研究について

三井記念病院膠原病リウマチ内科

鈴木 豪

このたび当院では、関節リウマチの治療を受けている患者さまの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さまの新たなご負担はありません。また、患者さまのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。試料・情報の使用をお断りになってもあなたに不利益が生じることはありません。

### 1. 研究の目的及び意義

関節リウマチの診断に用いる MRI 検査は骨内の炎症性病変である骨髄浮腫も観察可能な画像診断方法です。骨髄浮腫は、骨内の炎症性病変ですが、将来の関節破壊の可能性を示すことが知られています。骨髄浮腫を有する手および手指関節のX線画像と骨髄浮腫を有さないX線画像を比較観察したところ、X線画像においても骨髄浮腫との関連がある可能性が見つかりました。MRI 検査の検査費用は一般に高額で患者さまにとって負担であるため、骨髄浮腫の診断にあたり、MRI 検査によらず、単純 X 線画像で対象の身体部位に骨髄浮腫が存在するかどうかを、また骨髄浮腫の局在に関して推定することを目的としています。

### 2. 研究の方法

1) 研究対象者 関節リウマチに罹ってから2年以内の患者さま

2) 研究実施期間 2026年3月31日まで

3) 研究方法

2017～2020年までに受診した早期関節リウマチまたは疑いのある患者さまの中から、初診時に匿名化された手指および手関節部の X 線および MRI を撮像した 500 例に関して、MRI 骨髄浮腫部位を RAMRIS 法にて評価し、骨髄浮腫のある部位を同定しました。骨髄浮腫あり群となし群において両群の X 線像を比較検討し、収集された画像は、名古屋大学にて骨髄浮腫の画像解析を行うアプリケーションソフトウェアを作成し、それを用いて片山整形外科リウマチ科クリニックにて評価を行います。

4) 使用する資料・情報 X 線画像及び MRI 画像

5) 資料の保存 CD に保管し保存する。

6) 研究計画書の開示 計画書をご覧になりたい方は、担当医師までお知らせください。

7) 研究成果の取り扱い 学会などで公表されます。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

【三井記念病院膠原病リウマチ内科】

研究担当医師 鈴木 豪 電話番号 03-3862-9111

9) 外部への情報の提供

名古屋大学大学院情報学研究科に依頼し解析されます。個人を特定できる情報は含まれません。

10) 研究組織 三井記念病院膠原病リウマチ内科